

社会 小6[Ⓣ] もくじ

● ● ● 確 認 編 ● ● ●

第1回	日本のすがたと産業・地形図の見方	4
第2回	九州地方, 中国・四国地方, 近畿地方	12
第3回	中部地方, 関東地方, 東北地方, 北海道地方	20
第4回	古代～近世の歴史	28
第5回	近代の歴史(明治時代)	36
第6回	近代・現代の歴史(大正・昭和・平成時代)	44
第7回	国の政治のしくみ	52
第8回	身近な社会のしくみ・国際社会	60

● ● ● 完 成 編 ● ● ●

第9回	地理のまとめ(1)	68
第10回	地理のまとめ(2)	76
第11回	歴史のまとめ(1)	84
第12回	歴史のまとめ(2)	92
第13回	公民のまとめ	100
第14回	データ・資料を読み取る問題	108
第15回	文章を読み取る問題	116

● ● ● (直 前 対 策 編) ● ● ●

第16回	入試頻出直前対策(1)	124
第17回	入試頻出直前対策(2)	132
第18回	入試頻出直前対策(3)	140

第1回 日本のすがたと産業・地形図の見方

知識完成 チェック

★次の文や表中の()にあてはまることば・数字を答えなさい。

1 日本のすがた

□(1) 日本の面積は約(①)km²で、世界にある(②)か国中、およそ60番目の広さを持つ国です。日本で最も面積が広い都道府県は(③)で、最も面積のせまい都道府県は(④)です。

□(2) 日本の人口は約(①)万人で、世界でおよそ11番目に人口が多い国(2020年)となっています。日本で最も人口が多い都道府県は(②)で、最も人口が少ない都道府県は(③)です。日本の人口は、5年に1度、総務省がおこなう(④)という調査で調べられます。 ※(①)は、100万までの単位で答えなさい。

□(3) 近年の日本では、^{こうれいしゃ}高齢者の割合が高くなり、^{わりあい}子どもの割合が低くなる(①)社会となっています。日本の人口にしめる、満(②)^{さい}歳以上の高齢者の割合は、およそ(③)人に1人となっています。

□(4) 日本には、約300万人の外国人が住んでいます。このうち、^{こく}国籍別で最も多いのが(①)で、次いで^{かんこく}韓国・ベトナム・(②)の順(2019年)となっています。

2 日本の農林水産業

□(1) 日本では、各地で^{いなさく}稲作がさかんにおこなわれています。日本の代表的な米の産地は、北海道の(①)平野や(②)^{ぼんち}盆地、山形県の(③)平野、宮城県の(④)平野、新潟県の(⑤)平野です。(⑤)平野では、日本で最も多く作付けされている米の品種である、(⑥)という品種が生産されていることで知られています。

□(2) 稲作は、おもに次のような手順で作業がおこなわれます。

^{いくびょう}育苗 ⇒(①)【田を耕し、肥料を入れる作業】
 ⇒(②)【田に水を入れ、土をならす作業】
 ⇒ 田植え
 ⇒(③)【田の水を一度ぬく作業】
 ⇒ 稲かり・(④)【^{いなほ}稲穂からもみをはずす作業】
 ……(⑤)という機械を使って同時におこなう。

1

(1)①約 _____ km²

② _____ か国

③ _____

④ _____

(2)①約 _____ 万人

② _____

③ _____

④ _____

(3)① _____ 社会

②満 _____ 歳

③ _____ 人に1人

(4)① _____

② _____

2

(1)① _____ 平野

② _____ 盆地

③ _____ 平野

④ _____ 平野

⑤ _____ 平野

⑥ _____

(2)① _____

② _____

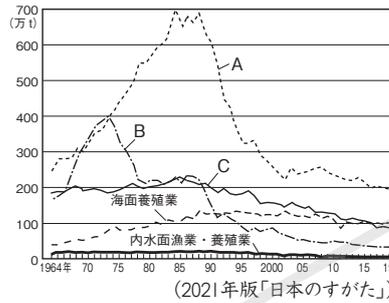
③ _____

④ _____

⑤ _____

□(3) 日本では野菜づくりもさかんです。千葉県や兵庫県などでは、大都市に近いことをいかした(①)農業が、高知県や宮崎県では、暖かい気候をいかした、夏野菜の(②)栽培が、長野県や群馬県では、すずしい気候をいかした(③)野菜の生産がさかんです。一方、くだものづくりがさかんな山梨県の(④)盆地では、(⑤)とよばれるゆるやかな傾斜地を利用して、ぶどうやももを生産しています。

□(4) 右のグラフは、日本の漁業種別の漁かく量を示したものです。Aは、いわし・さんまなどをとる(①)漁業、Bはまぐろ・かつおなどをとる(②)漁業、Cは(③)漁業です。



□(5) 近年の水産業では、「とる漁業」から「つくり育てる漁業」への転換がはかられており、養殖漁業や、卵をふ化させて稚魚を放流する(①)漁業などが各地でおこなわれています。また、日本は水産物輸入大国であり、その最大の輸入相手国は(②)です。また、輸入された魚介類で、最も金額が多いのは(③)です。

③ 日本の工業・貿易・資源・エネルギー

□(1) 日本の工業地帯・工業地域は、(①)とよばれる、太平洋側の臨海部に集中しています。これは、原料の輸入や、製品の(②)に便利だからです。一方、日本の機械工業の中心となっている自動車工業の工場は、内陸部にあります。自動車工業の工場では、部品をつくる関連工場から、必要な部品をすぐに運ぶ(③)方式をとっています。かつて、日本の自動車生産台数は世界一でしたが、現在は(④)が世界一となっています。

□(2) 日本の貿易の特色は、工業原料を輸入して、製品を輸出する(①)貿易です。日本の貿易港を貿易額の多い順(2019年)に並べると、次のようになります。

第1位 (②)	【千葉県】	……集積回路の輸出入が多い
第2位 (③)	【愛知県】	……自動車の輸出が多い
第3位 (④)	【東京都】	……魚介類・肉類の輸入が多い
第4位 (⑤)	【神奈川県】	……自動車の輸出が多い
第5位 (⑥)	【大阪府】	……集積回路の輸出入が多い

(2021年版「日本のすがた」)

- (3)① 農業
② 栽培
③ 野菜
④ 盆地
⑤

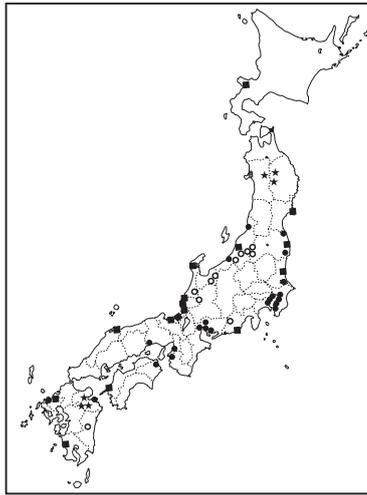
- (4)① 漁業
② 漁業
③ 漁業

- (5)① 漁業
②
③

- ③
(1)①
②
③ 方式
④

- (2)① 貿易
②
③
④
⑤
⑥

□(3) 右の地図は、日本のおもな発電所の分布を示したものです。●は(①)発電所, ■は(②)発電所, ○は(③)発電所, ★は(④)発電所です。(①)発電は、サウジアラビアなどの中東地域から輸入される(⑤)や、オーストラリア・カタール・マレーシアなどから輸入される(⑥)を燃料とします。(②)発電は、(⑦)などを燃料とします。



- (3)① 発電(所)

 ② 発電(所)

 ③ 発電所

 ④ 発電所

 ⑤ -----
 ⑥ -----
 ⑦ -----

□(4) 発電の方法には、さまざまな問題があります。水力発電では水をたくわえる(①)の建設に多くの費用がかかり、火力発電では、地球温暖化の原因となる(②)が排出されます。原子力発電では、(③)もれの事故の危険性があります。

- (4)① -----
 ② -----
 ③ -----

4

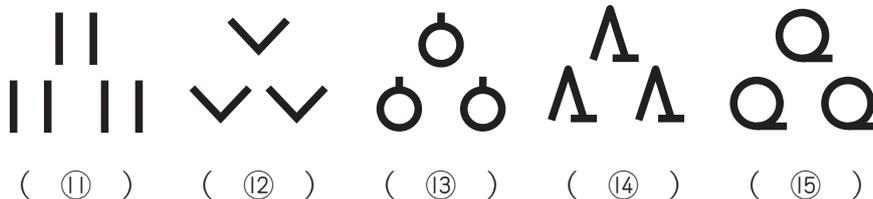
- (1)① -----
 ② ----- m
 ③ ----- m
 ④ ----- cm

- (2)① -----
 ② -----
 ③ -----
 ④ -----
 ⑤ -----
 ⑥ -----
 ⑦ -----
 ⑧ -----
 ⑨ -----
 ⑩ -----
 ⑪ -----
 ⑫ -----
 ⑬ -----
 ⑭ -----
 ⑮ -----

4 地形図の見方

□(1) 日本で地形図をつくる仕事をおこなっているのは、国土交通省に属する(①)です。(①)が発行する1:25000の縮尺の地形図では、等高線が(②)mおきに、1:50000の縮尺の地形図では、等高線が(③)mおきに引かれています。実際のきより1kmを縮尺1:25000の地形図上で表すと、その長さは(④)cmとなります。

□(2) 日本では、次のような地図記号が使われます。



基本問題

1 日本の周辺の地域を示した右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中のA～Dの国名をそれぞれ答えなさい。また、それぞれの国の説明を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア 拉致問題などがあるため、日本との間に正式な国交がない。

イ 北方領土問題があるため、日本との間に平和条約が結ばれていない。

ウ 1972年に日本との間の国交が回復し、1978年には平和条約が結ばれた。

エ 1965年、佐藤栄作内閣のもとで、日本との間に基本条約が結ばれた。

□(2) 地図中のE～Hの海の説明を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア 暖流の対馬海流が流れている。D国との間で領土問題となっている島がある。

イ 暖流の日本海流が流れている。大西洋・インド洋と共に三大洋とよばれる。

ウ 冬になると流氷がおしよせる。さけ・ます・すけとうだらなどの水産資源が豊富である。

エ 大陸だなどよばれる水深200mまでの浅い海底が広がる。

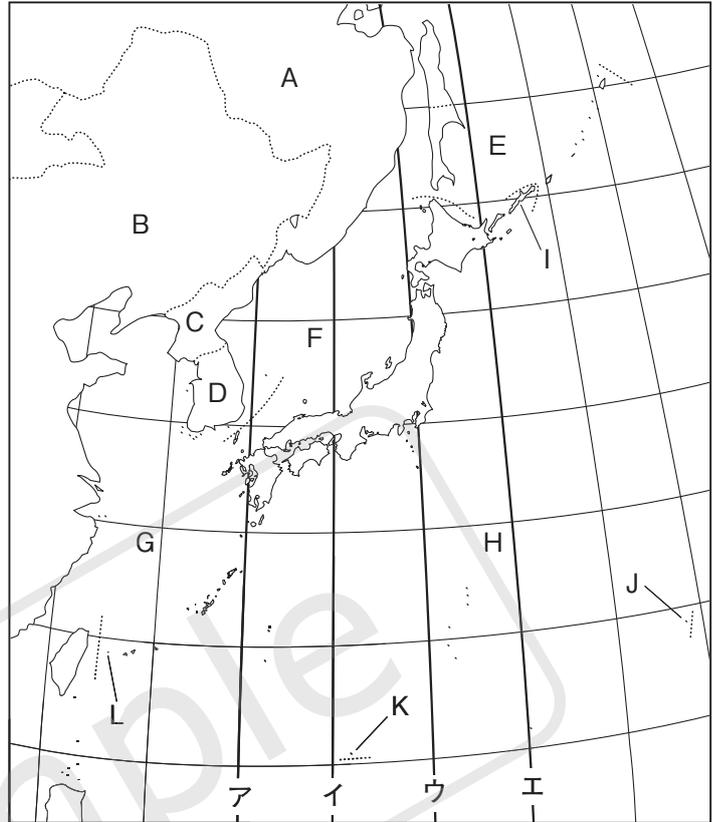
□(3) 地図中のI～Lは、いずれも日本の東西南北の端となっている島です。これらの島の名前を答えなさい。

□(4) Iの島と、Lの島の間のはどれくらいですか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア 約1300km イ 約2300km ウ 約3300km エ 約4300km

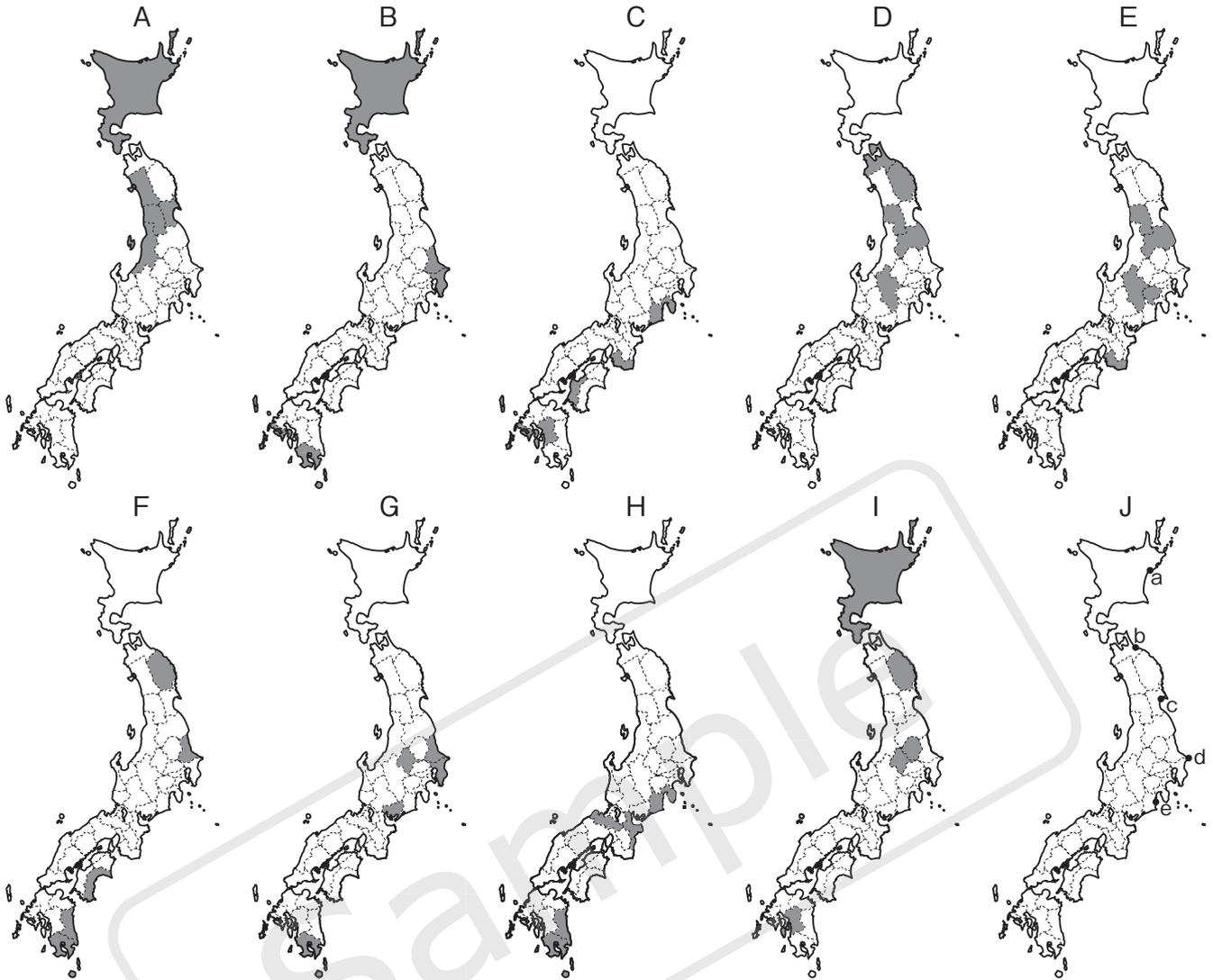
□(5) Kの島は、沿岸から200カイリまでの水域を守るため、政府によって護岸工事がおこなわれたことで知られています。この水域を何といいますか。

□(6) 地図中のア～エの経線のうち、日本の標準時子午線となっているものを、1つ選びなさい。



(1)	A	国名	記号	B	国名	記号	
	C	国名	記号	D	国名	記号	
(2)	E	F	G	H	(3) I	島 J	島
(3)	K	島	L	島	(4)	(5)	水域 (6)

2 次のA～Jの地図を見て、あとの問いに答えなさい。



(A・Iは2020年, Jは2018年, ほかは2019年)

(2021年版「日本のすがた」など)

□(1) A～Iの地図は、日本で生産されている農畜産物の生産量上位5都道府県を示したものです。それぞれの農畜産物は何ですか。それぞれA～Iから1つずつ選びなさい。

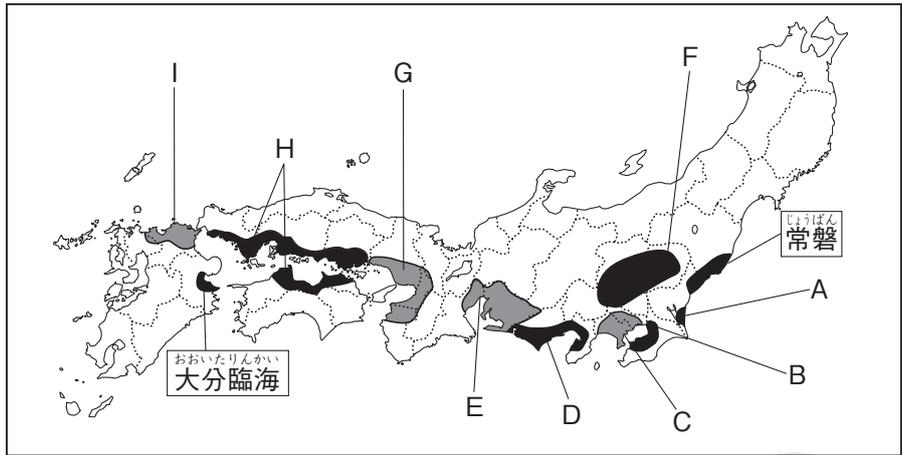
- 【A・Bの農作物】ア 小麦 イ 米 ウ ジャガイモ エ さつまいも
- 【C～Eのくだもの】ア りんご イ みかん ウ ぶどう エ もも
- 【F・Gの野菜】ア キャベツ イ レタス ウ ピーマン エ なす
- 【Hの工芸作物】ア てんさい イ さとうきび ウ 茶 エ たばこ
- 【Iの畜産物】ア 肉用牛 イ 乳用牛 ウ ぶた エ 肉用若鶏

□(2) Jの地図は、水あげ量が日本有数の漁港を示したものです。a～eの漁港の名前を、次の5つから1つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|-----------|
| いのまき
石巻 | やいづ
焼津 | ちゅうし
銚子 | はちのへ
八戸 | くしろ
釧路 |
|------------|-----------|------------|------------|-----------|

(1)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
(2)	a	b	c	d	e				

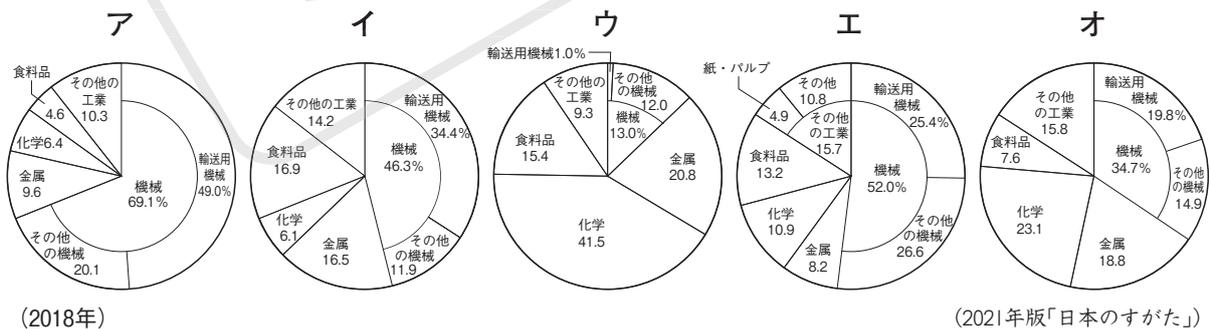
3 次の地図は、日本のおもな工業地帯・地域(北海道・沖縄を除く)を示したものです。これを見て、あとの問いに答えなさい。



□(1) A～Iの工業地帯・地域の名前を、それぞれ答えなさい。また、それぞれの工業地帯・地域の特色を、次のア～ケから1つずつ選びなさい。

- ア 高速道路や新幹線などの交通の便がよい。浜松では楽器の生産がさかんである。
- イ 1901年に操業を開始した八幡製鉄所を中心に発達した。現在は機械工業もさかんである。
- ウ 君津を中心に鉄鋼業が、市原を中心に石油化学工業が発達している。
- エ かつては養蚕がさかんであったが、現在では自動車などの機械工業がさかんである。
- オ 自動車や陶磁器・せいの生産がさかんである。生産額が日本一となっている。
- カ Y字型にほりこまれた港の周辺に、石油化学コンビナートや製鉄所が集まっている。
- キ 塩田や軍用地のあと地に工場がつくられて発達した。石油化学工業がさかんである。
- ク 製品出荷額にしめる印刷業の割合が高い。自動車・造船などの機械工業も発達している。
- ケ せい工業を中心に発達し、かつては生産額日本一であった。中小工場の割合が高い。

□(2) 次のグラフは、地図中のB・D・E・H・Iの工業地帯・地域の工業製品別出荷額の割合をまとめたものです。それぞれの工業地帯・地域のグラフを、次のア～オから1つずつ選びなさい。

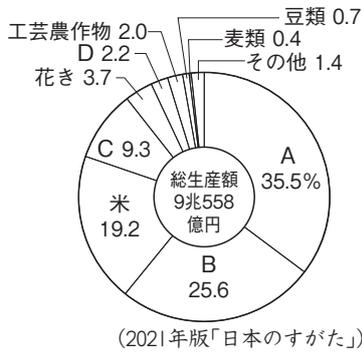


(1)	A	工業地域	B	工業地域	C	工業地帯
	D	工業地域	E	工業地帯	F	工業地域
	G	工業地帯	H	工業地域	I	工業地帯(地域)
(2)	B	D	E	H	I	

練習問題

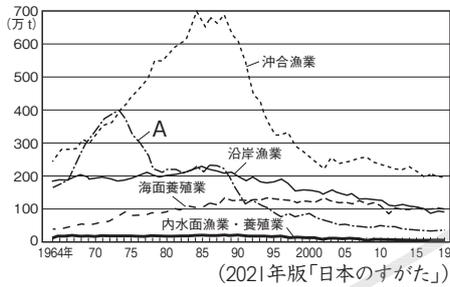
1 下の資料は、日本の農水産業に関するものです。これを見て、あとの問いに答えなさい。

資料1 農産物の生産額(2018年) 資料2 おもな食料の自給率(2019年度)と輸入先(2019年)



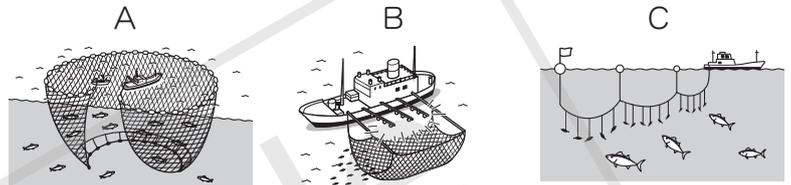
	自給率	おもな輸入先(金額順・単位%)
A	52%	アメリカ(26) オーストラリア(14) タイ(14)
B	52%	中国(18) チリ(10) アメリカ(9)
C	16%	アメリカ(46) カナダ(35) オーストラリア(18)
D	6%	アメリカ(71) ブラジル(14) カナダ(14)
E	38%	アメリカ(20) フィリピン(19) 中国(15)
F	79%	中国(49) アメリカ(16) 韓国(6)

資料3 漁業種別漁かく量の移り変わり



資料4 おもな漁法

(2021年版「日本のすがた」など)



□(1) 資料1のA～Dにあてはまる農産物を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア いも類 イ 野菜 ウ 畜産物 エ 果実

□(2) 資料1に見られるように、米の生産額は現在、農産物の中で3位となっていますが、かつては1位でした。米の生産額の割合が低下してしまった理由を、簡単に説明しなさい。

□(3) 資料2のA～Fにあてはまる食料の種類を、次のア～カから1つずつ選びなさい。

ア 大豆 イ 小麦 ウ 野菜 エ 果実 オ 肉類 カ 魚介類

(4) 資料2に見られるように、日本の食料自給率は全体的に低くなっています。

□① 日本の食料自給率は、全体でおよそどれくらいですか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア 約10% イ 約25% ウ 約40% エ 約55%

□② 外国から食料を輸入することは、地球環境にとってマイナスの面があります。それは何ですか。簡単に説明しなさい。

□(5) 資料3のAの漁業でおもにとられる魚を、次のア～エから1つ選びなさい。

ア まぐろ イ いわし ウ さんま エ さば

□(6) 資料3のAの漁業は、かつては日本で最も多い漁かく量をほこっていましたが、1970年代におこったあるできごとをきっかけにして、漁かく量を大はばに減らしました。このできごととは何ですか。カタカナで答えなさい。

□(7) 資料3に見られるように、日本の漁かく量は以前に比べてだいぶ減っているため、「つくり育てる漁業」が注目されるようになってきました。このような漁業のひとつに、「栽培漁業」がありますが、これはどのような漁業ですか。簡単に説明しなさい。

□(8) 資料4のA～Cの漁法でとられる魚を、次のア～ウから1つずつ選びなさい。

ア さんま イ まぐろ ウ いわし

(1)	A	B	C	D					
(2)									
(3)	A	B	C	D	E	F	(4) ①		
(4)	②							(5)	
(6)				(7)					
(8)	A	B	C						

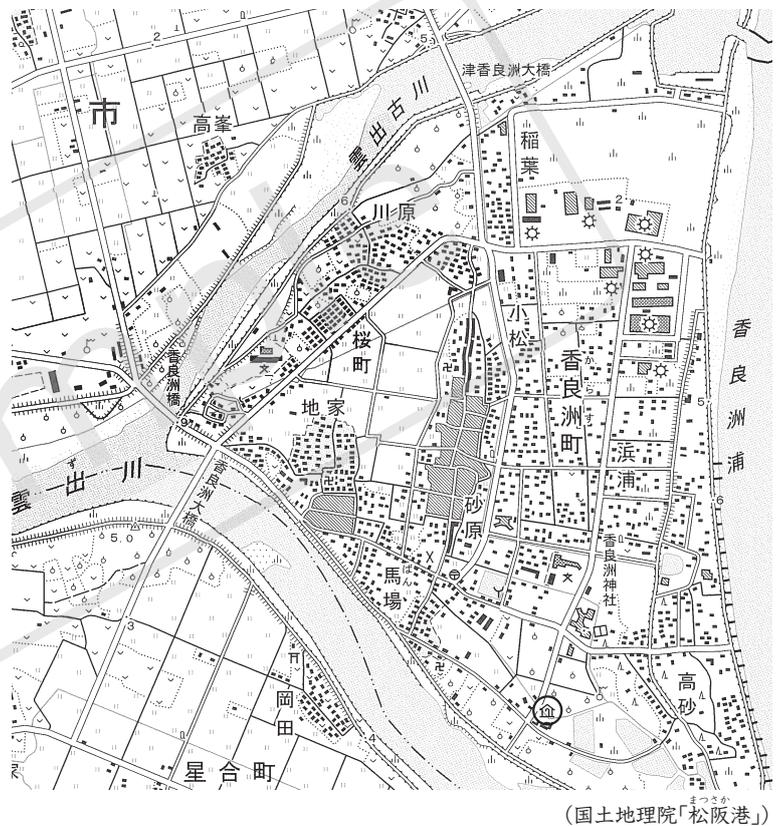
② 右の地形図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) この地形図では、等高線が10mおきに引かれています。この地形図の縮尺を、次のア～エから1つ選びなさい。
 ア 1:2500 イ 1:5000
 ウ 1:25000 エ 1:50000

□(2) この地形図上で16cm²の面積は、実際には何km²ですか。

(3) 次の①～⑥の文は、この地形図について説明したものです。文中の下線部について、正しければ○、まちがっていれば正しいことばを答えなさい。

- ① 地形図中の○の部分には、図書館がある。
- ② 「香良洲大橋」から見ると、「津香良洲大橋」は北東の方位に見える。
- ③ 地形図中には、きれいな四角形に耕地整理された、果樹園が多く見られる。
- ④ 地形図からは、扇状地という河川の河口付近に形成される地形が見てとれる。
- ⑤ 地形図中の「稲葉」の付近には、あれ地が広がっている。
- ⑥ 地形図中の「雲出川」は、東から西に向かって流れている。



(1)		(2)	km ²								
(3)	①				②				③		
	④				⑤				⑥		